

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、14人の議員が12月1日、2日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 坂本達夫議員

- 本庁舎の建て替えについて
- 駅西口駐輪場について
- 浸水問題について
- 近所の避難場所について
- 惣新田幸手線バイパスの説明会について

### 小林英雄議員

- 幸手市民まつり・県営権現堂公園2号公園について

### 四本奈緒美議員

- 子育て支援について
- 子宮頸がん予防ワクチン接種と帯状疱疹予防ワクチン接種について
- 田んぼダムによる防災・減災対策について

### 小林啓子議員

- 性の多様性を尊重した社会づくりについて
- 電子図書館（電子書籍貸出サービス）について伺う

### 本田謡子議員

- 防災について

### 藤沼 貢議員

- 人口減少問題について

### 青木 章議員

- ふるさと納税について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

### 松田雅代議員

- 新型コロナウイルス感染症に係る学級閉鎖等による学び・学力保障への影響について
- 入間市との連携交流協定の今後の取り組みについて
- 職員の適正配置・組織の統廃合について

### 大平泰二議員

- 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症対策
- 治水対策
- 駅西口土地区画整理
- タクシー券の交付

### 小河原浩和議員

- 幸手市における買い物弱者救済のため、スーパーマーケット等との協定のもと、移動販売車導入を提案するが所見を伺う
- 吉田幼稚園跡地・備品の活用について伺う
- 子育て支援の充実について伺う

### 木村治夫議員

- 安心安全対策について
- 権現堂堤の観光シーズンの渋滞解消と新たな公共交通の整備について
- 幸手駅西口土地区画整理事業について

### 枝久保喜八郎議員

- 帯状疱疹予防ワクチン接種について
- 教育問題について
- 幸手中央地区産業団地の拡充について

### 海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染状況とワクチンの接種計画について
- 危険な県道・市道について
- 市民人口減少防止対策等について
- 市民の足・循環バスの運行について
- 予想される災害対策等について

### 武藤壽男議員

- 総合教育会議と学校の適正配置について市長に伺う
- アライグマ、ハクビシン等の鳥獣被害等について
- 市と各種団体との意見交換等について

## 「議会報告会」に対して寄せられた意見要望等について

今年度の「議会報告会」については、コロナ禍の影響により中止といたしました。市民の皆様から、市議会や市政に対して下記のとおり「ご意見・ご要望」が寄せられ、市議会から市に対して回答を求めました。市からの回答をお知らせいたします。

市議会として引き続き皆様の声が市政に反映されるよう努めてまいります。

**質問** 吉田幼稚園の跡地について、緊急時に避難所として活用できるようにして欲しい。また、惣新田地区の地域の現状を把握し、高齢化の状況や交通の便を考えてください。

**答** 吉田幼稚園の跡地活用につきましては、現在、プロジェクト・チーム会議において検討しており、市民の皆様からも意見を頂戴したいと考えています。

また、令和4年度、5年度の2箇年で市の将来的なまちづくりのため第6次幸手市総合振興計画後期基本計画を策定しており、その過程において市民の皆様からも色々な意見をいただいています。吉田幼稚園が位置する地区は、市街化調整区域にあり活用方法が限定されますが、それらの意見を計画策定の参考にし、よりよい街づくりにつなげてまいります。

(総合政策部・政策課)

## 本庁舎の建て替えについて



坂本達夫議員

**Q** 本庁舎の建て替えに関する事実を確認、整理する。

①本庁舎は、昭和42年8月に建設され、55年が経過し、耐震性に問題がある。②新庁舎の建設費は22億円から26億円かかる。③建設のための基金は、5300万円だけである。④市債残高は134億円もある。⑤高齢化と人口減少で財源が見込

めない。  
以上のことから、本庁舎は取り壊し、その機能をウエルス幸手等、既存の建物に移転すべきと考えるが、市長の所見を求めらる。

**A** 市役所本庁舎の整備方針としては、建て替えの方向で進めており、市民や議員の皆様、これから入庁してくる職員を含めた執務を行う職員に安心して利用してもらえる庁

舎、防災中核拠点としての機能をしつかり備えた庁舎を、できる限りスピーディーに建設したいと考えている。  
来年度以降の基本構想策定に向け、今年10月から副市長と全部長級職員で構成した庁内検討委員会を立ち上げ、基本構想策定のための準備を進めている。  
(市長)

## 初めて郊外の公園で行われた市民まつりは



小林英雄議員

**Q** 第27回市民まつりが、オープン間もない県営権現堂公園2号公園で、オープン式典と併せて行われた。市内だけでなく、市外からも予想を超える、幅広い年代の来場者があり、若い世代、子育て世代の家族も多くみられ、賑やかで盛大なものとなった。コロナ禍により、3年ぶりで、初めて郊外の

公園での開催となり、会場、駐車場、シャトルバス、ブース等、様々な問題があったと思われるが、市民、来場者からの指摘、意見、また、その対応について考えを伺う。

**A** 市民まつり会場は、スペースを広くとれたことにより快適に過ごせたとのこと見があった。

かったと認識している。  
シャトルバスは、乗車ができない状況が発生したことから、増便のご要望をいただいた。  
ブースについては、多くの方に利用していただき、どのブースも盛況であった。  
来年の市民まつりに向け皆様からのご意見を調査・研究し、開催場所等を含め検討する。  
(建設経済部長)

なものであった。コロナ禍により、3年ぶりで、初めて郊外の

駐車場は、一時的に満車となったが、待ち時間は比較的少な

## 子宮頸がんと帯状疱疹予防ワクチンについて



四本奈緒美議員

**Q**

令和5年4月より子宮頸がんを予防する9価HPVワクチンが新たに定期接種となる予定である。4月からの実施と対象者への丁寧な通知が必要と考えるが、本市の取り組みを伺う。

加齢やストレス等、免疫力の低下により帯状疱疹を発症する人が増えている。ワクチン接種

は発症と後遺症を抑える効果がある事から、現在任意接種で50歳以上が対象となっている帯状疱疹ワクチン接種に助成を行い、市民の健康を守るべきと考え、本市の見解を伺う。

**A**

子宮頸がんの9価HPVワクチンの周知方法については、広報や市ホームページに加え、対象者へ個別通知を考えている。また、交互接種等についても誤解が生じないように、

周知徹底していく。

任意接種である帯状疱疹ワクチンの助成については、予防接種事業がこれまで定期接種のワクチンを基本としていることから、国の定期接種への動向を注視するとともに、他自治体の実施状況等について調査のうえ、研究していく。

(健康福祉部長)

## 性の多様性を尊重した社会づくりは



小林啓子議員

**Q**

パートナーシップ制度については、昨年までに全国102以上の自治体で導入され、埼玉県では今年7月より「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が施行された。幸手市のパートナーシップ制度の導入に向けての考えを伺う。

市内中学校のジェンダーレス

制服の導入について伺う。

性の多様性に関して市民に理解を深めてもらうための必要な啓発について、幸手市としての考えを伺う。

**A**

近隣の先進事例等の情報収集等を行い、幸手市のパートナーシップ制度化に向けて、調査研究を行い、すみやかな制度化に努めていきたい。

市内中学校において、全ての生徒が安心して通える環境づく

りの1つとして、ジェンダーレス制服の導入に向け、準備を進めているところである。

性の多様性のさらなる理解促進を図るための周知や啓発をホームページ、SNSなどあらゆるツールを活用して公報していきたい。

(教育長・総務部長)

突然、姿を消したカスリーン台風の電柱表示



本田 謡子議員

**Q** 本年9月上旬に、突然、電柱表示されたカスリーン台風による利根川の氾濫時の水位表示等が、姿を消しました。この電柱表示は、利根川の氾濫を身近に周知すると共に、防災の観点からも有意義なものだと思います。そこで、市はこの電柱表示がなくなってしまうことをご存知か伺う。また、

カスリーン台風の氾濫時の水位表示は、国土交通省利根川上流河川事務所が令和元年度まで実施していましたが、その撤去が最近行われたと認識しています。現在市では洪水に対する備えのために、ハザードマップの浸水深の表示を検討しています。

た、これからの防災を考えての幸手市の対応を市長に伺う。

**A** カスリーン台風の氾濫時の水位表示は、国土交通省利根川上流河川事務所が令和元年度まで実施していましたが、その撤去が最近行われたと認識しています。現在市では洪水に対する備えのために、ハザードマップの浸水深の表示を検討しています。

今後の市の対応としては、マ



イタイムラインの作成や家庭での備蓄について広報したり、自主防災団体の組織化を進め、支援していくことで、「自助」や「互助」に対する理解を広めていきたいと考えています。

(市長・市民生活部長)

人口問題を議論するための方向性について



藤沼 貢議員

**Q** 先の一般質問で指摘した、幸手市の人口減少の取り組みについてその後どう協議されているのか伺いたい。

また、新駅の建設に伴い西口区画整理が進行している中、西口駅前の整備はどのような取り組みに組まれているのか。民間活力の導入について市から要請する考えはあるか伺う。

**A** 今後も、人口減少問題の克服に向けて、「幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議」等を継続するほか、様々な機会に、市民の皆様からご意見を拝聴できるよう努めてまいります。

また、民間活力の導入について、出店意向を把握するために業種を拡大しアンケートを実施した。仮換地後の土地は所有者に処分権限が移動するため、土地活用の相談に対してサポート

していくとともに、事業者に対し、情報提供・意向確認を行い企業の進出を促していきたい。(総合政策部長・建設経済部長)



## ふるさと納税について



青木 章議員

**Q** ふるさと納税は、自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄附が出来る制度です。自治体の取り組み、まちづくりなど寄附金の使い道を指定できます。

令和3年度、純粋な幸手市の受入れ額は、1010万円です。一方、幸手市民の他市への流出額は約1億3349万円です。

す。この市民税の減収額は、約6240万円です。新たに魅力ある返礼品を発掘すること。また、寄附金の用途を明確にして、募集するなど大いに工夫が必要と思うが、具体策を伺います。

**A** ふるさと納税については、令和元年度にふるさと納税サイトを導入し、毎年、返礼品や協力事業者を増やしています。

しかしながら、幸手市の受入額を他自治体への流出額が上回っていることは認識していません。

今後も、魅力ある返礼品の発掘や商工会との連携、SNSを活用した事業者へのアプローチなど、返礼品協力事業者の拡大を精力的に行います。また、企業版ふるさと納税など、寄附額拡大への新たな取り組みを積極的に実施してまいります。

(総合政策部長)

## コロナ禍による臨時休業等に万全の対応を



松田雅代議員

**Q** 新型コロナウイルス感染症が未だ終息を見えない中、学級閉鎖や学年閉鎖となる学校が全国的に広がっている。幸手市では2学期に入って複数の学校で学級閉鎖が相次ぎ、直近では臨時休業となる学校も報告されている。

学校現場の事務量の増加、カリキュラムの履行、子どもたちの

学び・学力保障、家庭も含めた様々な負担や影響が気になるところである。特に低学年や進学・受験を控えた小6・中3生の学習理解の定着、宿題の見届けは重要である。対応を伺う。

**A** コロナ禍による臨時休業等により、児童生徒・保護者・教職員等に様々な影響が出てくる。その影響を極力減らすために、各学校では、オンラインでの学習や宿題・課題等

を適切に提示して、学びの保障に努めている。

また、不足した授業時数につきましましては、余剰時間の活用や時間割の工夫等の弾力的な教育課程の編成により、年度内で時数を充足させ、確実な学び・学力保障に繋がっていると考える。

(教育長)



小河原浩和議員

市内の買い物弱者救済のため、移動販売車導入を提案

Q

高齢化の進行とともに小売店舗の超大型化・郊外化により近所の小売店が減少し、日常の買い物に不便を感じている方が大きな社会問題となっている。

近隣自治体では、問題解決の手段としてスーパーマーケット等と協定を結び、市が一定の助成や補助を出しながら移動販売車

A

移動販売車については、幸手市にも導入を提案する。

高齢化社会を見据え、新たなビジネスとしてサービスエリアを拡大している。流通事業者等によって運営の仕方が異なるため、行政が何処まで関われるか十分な調査研究が必要である。現在、先行する自治体から課題や問題点を収集すると共に、流通事業

(健康福祉部長)



治水対策と無許可橋



大平泰二議員

Q

大中落し牛村病院前架け橋による川幅狭窄で、上流下流の水位差発生の確認方法について、9月議会以降の進捗状況の報告を求める。

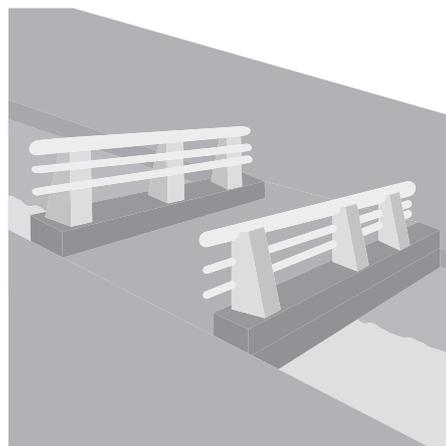
また、市内河川の無許可橋の現状と対策について伺います。

A

9月議会で質問があった牛村病院前、大中落の川幅狭窄部に水位標を設置した。今後、増水時には上流と下流の水位差の確認を行う。

また、準用河川中落の県道幸手久喜線下流に架かる人道橋が所有者不明な橋であるが、川幅狭窄部ではないため、治水上の問題はない。

(建設経済部長)



桜堤の観光渋滞解消と新たな公共交通整備は



木村治夫議員

**Q**

来年の第90回幸手桜まつりは、令和5年3月25日（土）～4月9日（日）まで開催が決定されました。

市の最大イベントであるまつり時期の渋滞対策、また、渋滞解消対策としての具体的対応等伺います。

また、令和2年第1回定例会中に「仮称県営幸手権現堂公園

駅」の設置請願が請願者6名により議会に提出、しかしコロナ感染症拡大により取り下げの経緯がありました。市長公約ロードマップにおいても「四季駅の検討」が示めされております。その進捗状況について市長に伺います。

**A**

桜まつり時の渋滞対策については、会場付近の県営公園や企業の駐車場を借用し、より多くの駐車台数を確保

します。また、駐車場までの誘導看板を適所に設置することでスムーズに誘導できるようにします。臨時バスの運行についても検討しつつ渋滞緩和対策に努めます。

「四季駅」について鉄道会社と意見交換した実績は令和2年2月の1回のみですが、市長公約ロードマップに位置づけられていることから、引き続き設置の可能性を検討していきます。（総合政策部長・建設経済部長）

中央地区産業団地の拡充について



枝久保喜八郎議員

**Q**

幸手市の財政は県内でもかなり厳しい位置づけに置かれる現状にあります。

この状況を打破する対策の一つとして、現在ニトリが工事を開始した後、更なる活性化を図るための中央地区産業団地の拡充は欠かせないものと考えます。そこで、次の項目について伺います。

**A**

幸手中央地区産業団地の東側地区は工業系の土地利用構想となっており、新たな産業団地整備は、基盤整備や雇用創出、市の財源確保にとつて極めて重要であると考えます。

- ① 県企業局との折衝現況及び感触について
- ② 具体的な要望内容は提示しているのかについて
- ③ 問題点について
- ④ 認可の目途について

現在、産業団地にかかる県との具体的協議を始めるため、課題である農業振興地域整備計画の見直しを行っています。

計画の骨格が整えば、県企業局との具体的な協議を開始できる状況となることから、県企業局と事業の可能性を協議したいと思えます。

（市長・副市長）

市民減少防止し、新たな市民受け入れ策を！



海老沼隆夫議員

**Q**

他市町村から幸手市に転入して来た場合には、例えば40歳未満の夫婦世帯には転入費用の5%、30万円以下の支援を行うとの答弁を先の議会にて頂きましたが、申請が有ったのは、前回の答弁時では2件のみとのことでした。答弁にも有りましたが、幸手市から転入者への大きな支援活動の広報活動

**A**

「幸手市しあわせ家族ウエルカム補助事業」の補助要件が、令和4年4月1日以後に契約し登記したものと なっており、住宅が登記されるまでに時間を要することから、令和4年9月の時点では、申請

数が少なかつたものと推察する ところ。事業の広報については、市ホームページの外、公共施設や駅へのチラシの配架を引き続き行ってきましたが、令和4年11月現在の申請件数は、11件となり、まもなく予算上限に達する状況となっております。  
(総合政策部長)

総合教育会議と学校の適正配置



武藤壽男議員

**Q**

市長を主宰とする市長と教育委員会の総合教育会議があり種々議論されています。本市は少子化の影響で児童生徒数が、昭和59年度9676人をピークに減少し、現在3271人、6年後には更に2597人に減少すると推計されます。現在ですら少人数のため、複式学級や学校行事等に支障をきた

**A**

す学校もあります。次代を担う人材育成のためにも早急に市の街づくりの方針を明らかにした中で、学区の再編成を含めて適正規模の適正配置が必要です。市長に伺います。

いります。その過程においては、教育委員会との緊密な連携が必要であり、総合教育会議で検討することも一つの方法であると考えています。  
将来のまちづくりを含めて市民の皆様の十分な理解と協力を得られるよう努め、最善の選択に繋げてまいりたいと考えています。  
(市長)